

2022（令和4）年度 役員・地区事務局長会

ミューザ川崎 第2・第3研修室

2022年12月3日（土）18:40～20:00

進行：松田事務局長

□講演会 17:40～18:20

演 題 「健康寿命延伸プロジェクト」

講 師 日本体育大学総合スポーツ科学研究センター長 岡本 孝信氏

開会のことば

北相西地区 落合副会長

1 会長あいさつ

2 協議内容

①2022（令和4）年度 事業活動報告・会計報告・・・事務局長・会計

【事務局長より】

- ・横線部はできなかったもの。
- ・2月4日（土）役員・拡大役員会 産業振興センター 第3研修室 18:00～の予定。後日メールをします。
- ・3月の臨時総会は実施しない。

【会計より】

- ・一般会計での地区分担金は、地区名を入れて入金して下さい。

②2023（令和5）年度 事業計画（案）・・・事務局長・会計

【事務局長より】

- ・事業計画は本年度も流動的ではあるが、計画は前向きに考えて行きたい。
- ・5月6日（土）に計画している「かながわ日体未来塾」については、参加人数の制限など工夫して実施したいと考える ☞就職対策委員会担当
- ・4月15日（土）会場の川崎産業振興会館は決定ではない。
- ・12月2日（土）懇親会の担当は湘南地区に移ります。
- ・9月23日関東ブロック協議会は茨城で開催。

【会計より】

- ・令和5年 一般会計（案）詳しくは2月に確定。地区研修事業補助が入ってくる。
- ・収入の部 会員数869名は削除。
- ・支出の部 会員数869名は689名に。

○質疑応答・意見等

- ・【内藤様】 以前は地区で懇親会を行ったおりに同窓会費を集金したり、先生方が学校をまわっ

て集金したりしていた。コロナで懇親会ができなかった。名簿を頼りにするのも難しい。今後、会員数をどう増やしていくか。同窓会に加入する意義をどのように伝えていくべきか。このような会議で議題にあげて、方針を決めていったほうが良い。

- ・【山口会長】県としては「こうしましょう」は難しい。各地区で工夫をしてほしい。川崎地区はたよりを郵送して振り込んでもらう形態にしている。
- ・【内藤様】先細りを危惧している。会員に加入する意義が薄れてきている。
- ・【高田様】先細りは全国的。本部として何かの動きをしていくべきと考えている。日体大の卒業生の2割が教員、5割が企業、企業の会員を増やすことを考えられるとよい。
- ・卒業後に入る学生が減ってきている。誰がどこに就職しているのかもわからない。学生が進路先を大学に報告していないケースが多い。報告している学生もいるが、仮に報告を受けていても個人情報になるので……。教育実習で指導している学生にプリントを配ったり、一人でも多くの学生に加入してもらうよう、地道な努力を続けていくべき。
- ・実習生にも声をかけて行きたい。
- ・教員は横のつながりがあるが、企業の方々は横のつながりがない。一人一人を繋ぎとめることが大事。
- ・同窓会の活動は学生とウインウインにならない。学生時代の関わりを重要視したい。同窓会のPRが必要。みなさんで知恵を出し合いたい。
- ・【山口会長】実習生に声をかけることは大事。企業人をどう集めるのかが難しい。学生から意見を聞き、在り方を考えることも必要か。川崎では、スポーツ研修会などを実施している。同窓会が魅力あるものでなければならない。

③各副会長兼務業務推進について（別紙参照）・・・・・・・・山口会長

- 追加内容
- ・今後の同窓会の在り方について（学生が求める同窓会像とは……）
 - ・保護者会との連携強化の具体的事業
(例：代表役員等との懇親会、学生への支援活動 等)
 - ・同窓会委員確保の具体策

- ・追加内容の3つをどこの事業で取りまとめてもらうか
- ・学生の支援についてはどこかの県では、実習が始まる前からアドバイスをしている。手厚く学生に支援している。それが同窓会加入につながる。
- ・【高田様】保護者会と連携を密にしながら学生にアプローチしたい。現役学生に同窓会に入ってもらうために実のあるセミナーにしたい。保護者会との繋がりには各地区から代表として出したほうが良い。あとは若い方も入れたほうが学生の気持ちが分かる。
- ・【赤羽様】北相東では会員数が半分になった。地区での集まりに価値はあるのか、どのような同窓会なら入るのか、各地区で話し合うべき。また、異動するとまとめるのが大変になる。企業や公務員、一般の方々は「同窓会は教員の集まり」という考えを持っている。
- ・【山口会長】現在小学校教員に卒業生が増えている。実習生も小学校が増えている。そこにアプローチできるのでは……。 「あり方」については、今後も各地区で少しずつ考えていってほしい。

④地区にて実施している研修会（実習生・現職教員対象）の予算確保について・・・山口会長
現在研修会を4地区実施している。

県同窓会運営資金は年々減少傾向となっており、その中での新たな予算確保は難しいと考える。
そのような状況の中で予算確保として考える一案として、各地区にてホームページへのバナー
広告協賛会社などの開拓である。新たに協賛会社などの登録ができた地区に12000円の研修費
支給とする という考え方はどうか？

<現在の登録業者等>・東京菅公学生服株式会社

・株式会社ビック・ライズ 食品館あおば

・特定非営利活動法人 きよかわアウトドアスポーツクラブ

・学校法人 三浦学苑 三浦学苑高等学校

・今の4つの広告費は地区研修費に。新たな登録は研修費に。開拓した企業1社につき12000
円。2社24000円地区の研修費に。

※→様々な意見が出たので、2月の役員会にて改めて提案することとなった。

3 報告・連絡

①会員名簿の作成について・・・事務局長

来年度、会員名簿を作成します。各地区名簿提出の準備等をお願いします。

②11月27日（日）に実施した「かながわ日体未来塾」の報告 ☞高田委員長より

③教育実習生巡回相談関係について

☞加藤氏より

令和5年度教育実習指導者一覧について（別紙資料参照）

④忘年懇親会等開催地区・役員改選・会員数確認・名簿作成の予定一覧表・・・山口会長

「名簿作成」については3年に1回であり、過日提示した一覧表に誤りがありましたので訂正
しました。

⑤その他

ホームページ地区サイト更新方法について

・箱根駅伝の応援に際し、中止などの連絡をHPで行いたい。（西湘地区）

→操作方法は川崎地区の重田まで問い合わせてください。

閉会のことば

横浜地区 加藤副会長